

インターネット活用事業

1. ホームページの運営 平成 23 年 8 月リニューアル 延べ 18 万人/年間 (1 日 600~700 アクセス)
2. Facebook Twitter 開始 (平成 24 年度~)

子育てイベント

1. **せたがや子育てメッセ** (平成 14 年~) (参加者 700 人)
2002 年~NPO 法人せたがや子育てネットの前任意団体「ママパパぶりっじ」が運営協力団体として「子育てミニメッセ」を開催。その後、2004 年世田谷区からの補助を受けて企画運営実施団体となり、世田谷区主催の「すくすく i ネットシンポジウム」と同時開催をする。その後、第 4 回子育てメッセから区の委託事業となり、企業や子育て団体との協働進め、全区を見越した仕組みづくりを行う。そして、第 8 回の年に、せたがや子育てネットの企画運営事業としては完了し、その後、世田谷区が直接企画運営を行い現在に至るが、参加団体としてメッセに毎年参加する。
2. **烏山メッセ** (烏山地域メッセ) (平成 19 年~) (参加者 200 人)
烏山地域で開催される、「烏山メッセ」に参加
3. **世田谷区民祭り** (平成 22 年~) (参加者 30 万人)
8 月に馬事公苑において 2 日間子育て団体として出店。当日は子育てマップ配布、情報提供を行う
平成 24 年度は出店を見合わせる。
4. **子供未来とうきょうメッセ** (平成 24 年 1 月 26 日) (参加者 7000 人)
平成 24 年度は協働会員ブース担当東京国際フォーラム展示ホール
協働会員 100 倍増プロジェクト協働会員に声掛けをしてブースを設置、地図、一覧など展示
「つながる」かるたを会員に呼びかけて貼りだすことを提案
5. **ママフェス 運営協力・出展** (都内の団体に呼び掛け) (平成 24 年度) (5 月・10 月)
せたがや子育てネット 後援事業
5 月 11 から 13 日 (恵比寿ガーデンプレイス) 5 ブースを団体に呼びかけて利用してもらうと同時にボランティアも募集してママフェスの運営のお手伝いをする。東京ミッドタウン 10 月 5・6 日東京ミッドタウン
マップや広場情報を提供
6. **よみうり子育て応援団@東京** (平成 24 年 10 月 13 日土曜日) 読売新聞社主催 共催 NPO として企画運営
「乳幼児期の遊びと成長」大豆生田啓友さん「子どもと森へ出かけてみれば」スライド上映とトークショー
小西貴士さん 定員 100 名 (託児 20 名 ポピンズ) 京王プラザホテル (グレースホール)
7. **玉川地域子育てイベント** (平成 25 年 1 月 20 日) 協賛 明豊エンタープライズ
「えほんうた・あそびうたライブ ♪in おもちゃの広場」絵本うたライブ 西村直人さん
玉川地域 12 団体参加 参加申し込み 81 名
8. **「うまれる」映画鑑賞会** (平成 25 年 1 月 17 日) 世田谷区子ども基金補助事業 烏山区民会館集会室
ロカボランティアスタッフ運営・企画 参加者総合計 大人 80 名、子ども 57 名

子育て情報提供事業

1. **メールによる情報提供事業** NPO 会員登録者向けに NPO ニュースを月に 1 回メールで配信
 メール配信リストの運営（子育て当事者、子育て支援者向けの情報提供メール配信リスト運営）
2. **子育てライフ**（平成 23 年改訂）*随時頒布*
 保育園編（平成 17 年～）幼稚園編（平成 19 年～）
 当事者の視点から実際に子どもを保育園や幼稚園に通わせている保護者の声を基に作った。保護者へのアンケート、行政担当者へのインタビュー、園への聞き取りなど、世田谷での子どもがいる生活を充実させることに主眼を置き、2 年後に改訂を行い自主出版を続けている。
 子育てライフ幼稚園・保育園編は 24 年度版を改訂をして発行、書店（千歳書店）にもおかせてもらう。また、ライフの作成にあたり小児科の先生に協賛会員として登録してもらう（10 件）
3. **ぶりっじ記念誌頒布** *（随時）*
 下北沢で 3 年半商店街での「コミュニティカフェぶりっじ@shimokita の軌跡を 1 冊の本にまとめ自主出版
4. **「子育て情報メッセンジャー」事業**（平成 16 年～）*（発行部数 10000 部 平成 22 年度）*
 世田谷区内でその地域に暮らしている人たちや個店、商店街等を巻き込みながら、当事者が実際に子連れで調査し、「子連れでお出かけマップ」を作成、現在区内 19 か所となる。1. 梅ヶ丘 2. 三茶 3. 下北沢 4. 成城 5. 祖師谷 6. 弦巻界限 7. 経堂編 8. 烏山編 9. 下高井戸 10. 東松原 11. 経堂農大通り 12. 二子玉川 13. 駒沢 14. 等々力尾山台 15. 助産師マップ 16. 馬事公苑、17. 弦巻 18. 用賀 19. 梅ヶ丘（新）
 「助産師マップ」は世田谷区助産師会と協働で作成。また、世田谷区内に留まらず、「子連れお出かけマッププロジェクト」として、他区へも出張講座を開催する。
 平成 23 年度は代官山ひまわりでワークショップを開催し、代官山編を作成。
 平成 24 年度は助産師マップの改訂を行う

子育てに関する調査研究事業 平成 24 年度は実施せず

活動相談・支援事業

1. **地域別懇談会**（平成 16 年～）*（区内子育て支援 10 団体）*
 区内の子育て支援団体が 5 地域ごとに集まり情報交換会を行ってきた、22 年度は全体会を 6 月に実施。
 平成 24 年度は玉川地域のイベント時に玉川地域の団体と情報交換を行う
2. **企業の視察・相談**を受ける（平成 22 年～）*随時* 視察見学（キッズスペース）相談（経堂事務所）
 『森の ocha' kai』、奈良女子大学、日立化成テクノサービス(株) 株式会社ドリームインキュベータ
 千代田区社会福祉協議会、高松・絆ねっとハイジ、NPO 子育て支援ベビースマイル石巻、ジブラルタル生命、J2、大塚製薬 株式会社かんぽ生命保険（平成 24 年度）

コーディネート・派遣事業

1. **産前産後のセルフケア**（平成 19 年～）*（世田谷区委託事業）（親子延べ 400 人）*
 子ども子育て総合センターや区内施設（3 か所）で妊娠中から産後 5 カ月までのお母さん対象のセルフケア講座を世田谷区から委託されて月に 2 回開催している。体のことだけではなく子育て環境の情報提供なども、開催地域の子育て支援者や団体の方の協力を得て実施している。

2. 託児付きスポーツ教室の託児コーディネーター（平成20年～）（公財）世田谷スポーツ財団委託事業
大蔵運動公園体育館と千歳温水プール集会室の2か所で週4回実施。（親子延べ1800人）
3. 集団託児・見守り保育（平成16年～）（平成24年度延べ約100人）
各団体のイベント時の託児コーディネーター（世田谷助産師会、総合福祉センター、子育て支援団体等
キッズスペースぶりっじ@Roka においても一時保育を開始（平成22年度～）
4. 子育て応援とうきょう会議（東京都）委託事業（平成19年～）（東京都委託事業）
平成22年社会全体で子育て支援する東京」を実現するため設置された子育て応援とうきょう会議構成団体。
平成24年度は「協働会員100倍増プロジェクト」を受託 月1回のメルマガ、年3回の交流会、子供未来メッセへの協力、その他、子育て応援サイトリニューアル協力、ベビーカーキャンペーン協力
5. 「事故予防講座」開催（平成21年～）（日本生活協同連合会 協定事業）（全国3か所）
日本コープ共済生活協同組合連合会と業務契約を結び、会員生協の共済事業の一環として、所属する組合員等の子育て情報提供に資するため、「子どもの事故防止学習会」の企画運営を実施。日本各地のインストラクターと開催生協との調整を行い、学習会の開催を支援。
平成24年度の開催場所 愛知、香川、長野、神奈川、北海道の5か所と開催場所が増える。また、インストラクター向けの研修会を開催、全国からインストラクターが千葉の生協連に集合、交流を行う。
7. 企業のモニタリング、リクルーティング（平成22年度～）
平成24年度はマンション・住宅関連の企業のモニタリング・リクルーティングやおもちゃモニターを実施
8. 参加委員会・講師派遣等
- ◇ 世田谷区要保護児童支援協議会（平成19年度～平成24年度から烏山地域に参加
 - ◇ 世田谷区ユニバーサルデザイン審議会（平成14年度～）
 - ◇ 東京都次世代育成行動計画懇談会（平成22年～）
 - ◇ 東京都教育庁「地域で子供の育ちを支える担い手を養成するためのカリキュラム作成委員会 委員
 - ◇ 子育て応援とうきょう会議（平成20年度～）
 - ◇ 社会福祉法人 世田谷ボランティア協会 評議員（平成21年度～）
 - ◇ 公益財団 武蔵野市子ども協会 理事（平成21年度～）
 - ◇ 武蔵野市保育料審議会 委員（平成24年度）
 - ◇ 武蔵野市泉幼稚園跡地事業選定委員（平成24年度）
 - ◇ 特定非営利活動法人子育てひろば全国連絡協議会 理事（平成22年度～）
 - ◇ 公益財団法人長寿社会文化協会 コミュニティカフェ全国連絡会 委員（平成21年度～）
 - ◇ 全国社会福祉協議会 新たな子ども家庭福祉の推進基盤の形成に向けた取り組みに関する事業委員会 委員（平成24年度～）
 - ◇ 台東区家庭教育支援者養成講座
 - ◇ 千代田区社会福祉協議会子育てサロン講座
 - ◇ 加須市次世代育成支援協議会研修
 - ◇ オレンジリボン 全国フォーラムパネリスト 等

居場所づくり事業

1. キッズスペースぶりっじ@roka (平成 22 年～UR 都市再生機構と協働事業) (親子、支援者延べ 3000 人)

UR 芦花公園の団地内のキッズスペースで独立行政法人都市再生機構と居住者間のコミュニティ形成や地域による子育ての実現に寄与するために、子育て世代への情報提供や活動の支援及び調査に関する事業を協働で行うことについて合意し協定書を交わしてひろば事業を行っている。行政からの補助を受けない独自事業として自治会とも協力して団地居住者のみならず地域の人の交流の場になるように運営を続けている。

2. コミュニティカフェぶりっじ@kyodo (平成 22 年～) (親子、支援者延べ 100 人)

平成 22 年 3 月にそれま 3 年半開設していたコミュニティカフェぶりっじ@shimokita を閉じて、経堂に移転。月に 1 回の子育てサロンの他、子育て関係団体の事務局や事務所として使用。毎月第 2 木曜日開催

3. 夜ぶり開始 (平成 23 年度～)

2 ヶ月に 1 回程度、夜に経堂の事務所にて子育て関係者が集まり語り合う会を開催。(不定期)

4. パパプロジェクト開始 (平成 24 年度)

パパの絵本の読み聞かせをきっかけに「パパプロジェクト」として夜の 9 時からミーティングを行う。活動内容はこれからだが区民祭りへの参加は決定

人材育成・研修事業

1. おもちゃのインストラクター養成講座開催 (平成 21 年～) (子育て支援者 27 人)

夏休み 8 月週末 2 日間、昭和女子大オープンカレッジを借り (学生割引適応) おもちゃを通じて子育て支援等に役立つような人材育成の講座を開催。

平成 24 年度も 8 月 18 日 19 日に実施 (受講者 31 人)

2. 保育サポーター養成講座 (平成 21 年～) (子育て支援者 20 人)

女性労働協会の「保育サービス講習会」のためのカリキュラムとテキストを使って、子育て支援事業として、22 時間のカリキュラムを終了後、保育サポーターとして女性労働協会の保険に加入し保育をすることができる人材を養成。平成 24 年度も生活クラブ生協との協働で実施 受講者 17 人

3. 子育て支援者スキルアップ講座 (こども未来財団委託事業) (子育て支援者延べ 50 人)

子育て支援対象に、子どもの育ちについて改めて考え、何故乳幼児期に外遊びが必要かや、外遊びをすればよいというだけでなく、生活のリズムを整えたり、大人の心と体の安定のもとに子ども達の視線に注目しながら、見守るといふことの大切さを学ぶ講座

平成 24 年度も支援者向けスキルアップ養成講座を実施

10 月 20 日「だっこおんぶから子どもの体を考える」京都の NPO 法人子育てを楽しむ会の代表の迫さん

12 月 15 日「父親の子育てと絵本について」鹿子木亨紀さん、1 月 19 日「子どものあそびとくらしを保育園の実践からまなぶ」「大きな木保育園」藤井浩子園長先生、参加人数延べ 69 人、託児 26 人

報告書の小冊子を作成・配布

4. すぎなみ地域大学地域で子育て支援講座 (平成 24 年 10 月～11 月)

杉並の子育てボランティア養成 8 回連続講座 受講者 21 名

5. 杉並子育て応援券事業者向け研修 (平成 25 年 2 月 14 日、21 日)

杉並区の子育て応援事業者 30 業者参加 講師 福島富士子先生

6. 日の丸交通株式会社 子育てタクシードライバー養成講座協力 (平成 24 年 10 月 22 日) 日の丸交通足立

全国子育てタクシー協会の講座受講後、世田谷区、足立区、江東区 (猿江、深川) 4 か所でタクシー乗務員の研修を行う。

7. スタッフ体験受け入れ（公財）東京しごと財団

（平成24年度）菅野健司さん

その他

1. 世田谷区の「新たな基本構想に関する区民意見・提案」に応募

[20年後の世田谷区が目指すべき姿]

エリアごとの（支所単位）の虐待発生予防的な子育て支援ネットワークの構築

[区民を巻き込みできること]子育て支援のネットワーク構築 構築のプロセスの中で当事者である子育て家庭の参画の可能性と、そのコーディネート（中間支援）、インフォーマルな支援の開発

[区に担ってもらいたいこと]立場を超えて協働するための場の調整

※その他、物品補助（平成24年度）

1. 昭和池田記念財団 子どものプレイグッズ 総額約50万円 おもちゃ、発電機、マットなど
2. コンビウィズから授乳用のいすを寄贈